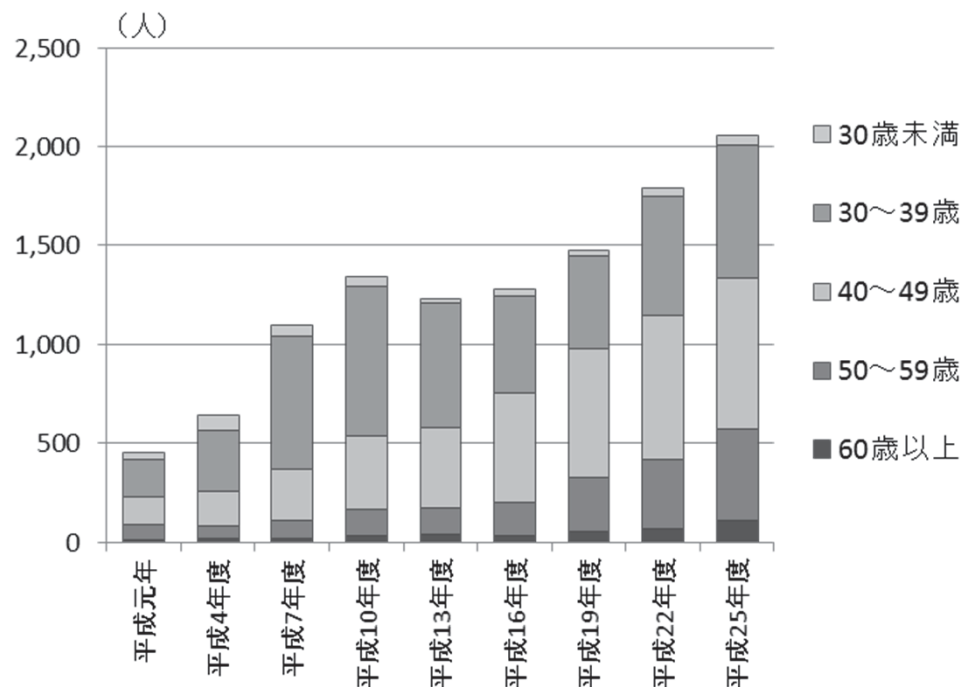


## 【大学等】国立大学の外国人教員数(年齢階層別、実数)

国立大学の外国人教員数は、平成元年以降着実に増加。

- 国立大学の外国人教員数は、平成元年の453人から平成25年度の2,053人へ着実に増加。
- 特に40歳以上は、ほぼ一貫して増加を続けている。

図表1 年齢階層別外国人教員数(国立大学)



単位: 人

年度	合計	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
平成元年	453	33	188	142	77	13
平成4年度	644	77	312	173	64	18
平成7年度	1,095	53	672	262	88	20
平成10年度	1,344	51	758	369	135	31
平成13年度	1,231	24	624	408	135	40
平成16年度	1,278	35	488	556	163	36
平成19年度	1,475	27	469	653	272	54
平成22年度	1,792	42	601	728	352	69
平成25年度	2,053	47	671	759	464	112

(注)数値は各年度の10月1日現在。

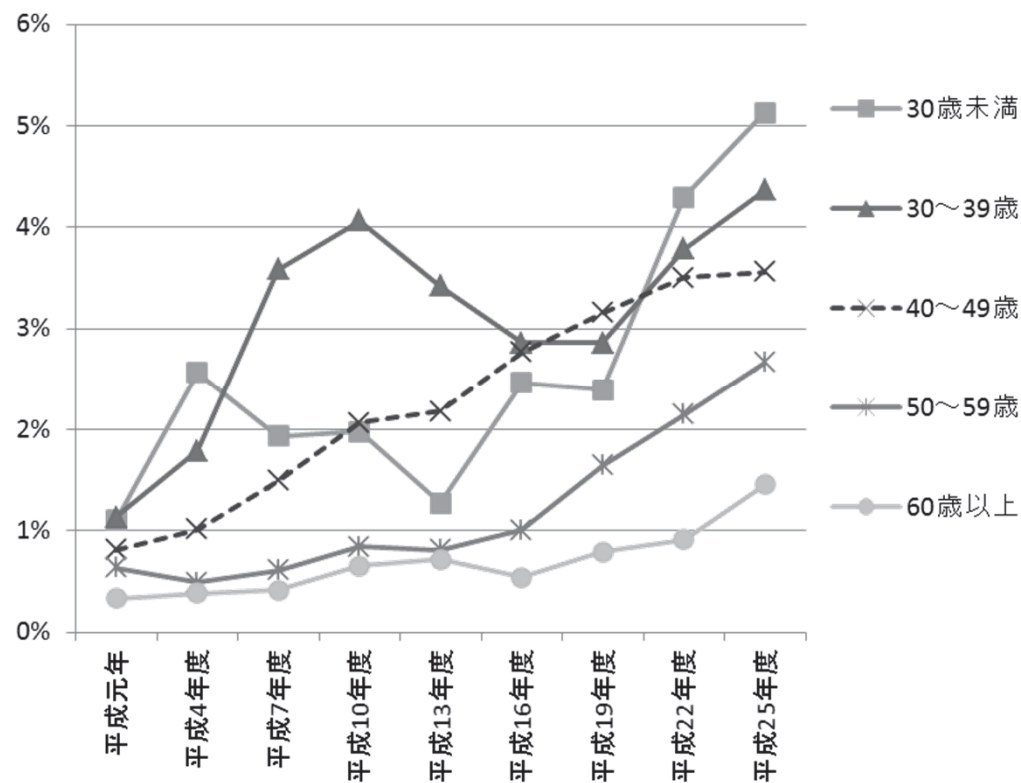
(出所)文部科学省「学校教員統計調査」各年度を基に作成。

## 【大学等】国立大学の外国人教員数(年齢階層別、割合)

国立大学の外国人教員割合は若い世代で高く、どの年齢層でも概ね増加傾向。

- 国立大学の外国人教員割合は若い世代ほど高い傾向があり、特に30歳未満については平成25年度で5.1%となった。
- どの年齢層も概ね増加傾向であり、特に40歳以上はほぼ一貫して増加している。
- 40歳未満については横ばい～減少傾向の時期もあったが、特に平成19年度以降は急速に増加している。

図表1 年齢階層別外国人教員割合(国立大学)



年度	合計	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
平成元年	0.9%	1.1%	1.1%	0.8%	0.6%	0.3%
平成4年度	1.2%	2.6%	1.8%	1.0%	0.5%	0.4%
平成7年度	1.9%	1.9%	3.6%	1.5%	0.6%	0.4%
平成10年度	2.2%	2.0%	4.1%	2.1%	0.8%	0.7%
平成13年度	2.0%	1.3%	3.4%	2.2%	0.8%	0.7%
平成16年度	2.1%	2.5%	2.9%	2.8%	1.0%	0.5%
平成19年度	2.4%	2.4%	2.9%	3.2%	1.6%	0.8%
平成22年度	2.9%	4.3%	3.8%	3.5%	2.1%	0.9%
平成25年度	3.3%	5.1%	4.4%	3.6%	2.7%	1.5%

(注)数値は各年度の10月1日現在。

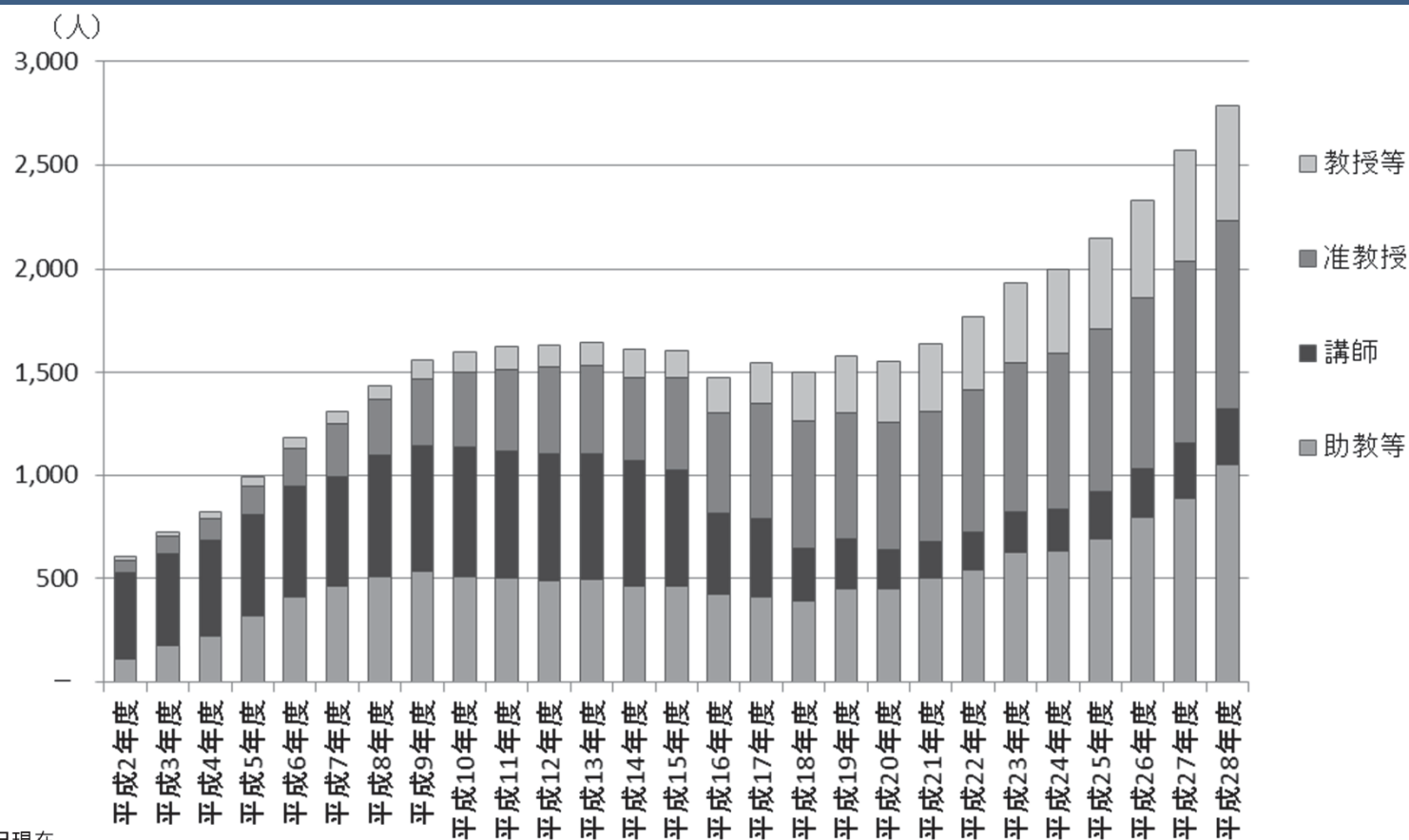
(出所)文部科学省「学校教員統計調査」各年度を基に作成。

## 【大学等】国立大学の外国人教員数(職階別、実数)

国立大学の外国人教員数は、「講師」以外の職階で概ね増加傾向。

- 国立大学の外国人教員数は、「講師」のみ平成10年度をピークに減少する一方、その他の職階では概ね増加傾向となっている。
- その結果として、平成2年度時点では「講師」の人数が多数だったものの、近年は「准教授」「助教等」の人数が多い。

図表1 外国人教員数(職階別)(国立大学)



(注1) 数値は各年度の5月1日現在。

(注2) 教授等は学長、副学長、教授を指す。

(注3) 助教等は助教、助手(助手(旧)を含む)を指す。

(出所) 文部科学省「学校基本調査」を基に作成。

# 【大学等】国立大学の外国人教員数(職階別、実数)

(続き)

図表2 外国人教員数(職階別)(国立大学)

単位:人

年度	合計	学長	副学長	教授	准教授	講師	助手(旧)	助教	助手
平成2年度	605	0	0	20	59	415	111	—	—
平成3年度	725	0	0	21	87	439	178	—	—
平成4年度	819	0	0	29	105	465	220	—	—
平成5年度	990	0	0	41	141	488	320	—	—
平成6年度	1,184	0	0	52	186	538	408	—	—
平成7年度	1,312	0	0	62	259	528	463	—	—
平成8年度	1,438	0	0	70	273	583	512	—	—
平成9年度	1,561	0	0	94	322	611	534	—	—
平成10年度	1,600	0	0	99	368	626	507	—	—
平成11年度	1,622	0	0	109	396	615	502	—	—
平成12年度	1,632	0	0	107	424	610	491	—	—
平成13年度	1,647	0	0	115	426	611	495	—	—
平成14年度	1,610	0	0	134	408	602	466	—	—
平成15年度	1,606	0	0	129	451	563	463	—	—
平成16年度	1,474	0	0	167	493	393	421	—	—
平成17年度	1,545	0	0	191	565	376	413	—	—
平成18年度	1,503	0	0	239	619	256	389	—	—
平成19年度	1,579	0	0	273	616	237	—	417	36
平成20年度	1,551	0	0	293	620	185	—	441	12
平成21年度	1,638	0	0	324	635	179	—	478	22
平成22年度	1,770	0	0	357	689	185	—	509	30
平成23年度	1,932	0	2	381	730	194	—	596	29
平成24年度	1,997	0	2	404	755	203	—	598	35
平成25年度	2,147	0	2	433	792	228	—	654	38
平成26年度	2,329	0	2	469	827	233	—	758	40
平成27年度	2,574	0	2	534	882	266	—	852	38
平成28年度	2,788	0	2	556	905	277	—	1,013	35

(注)数値は各年度の5月1日現在。

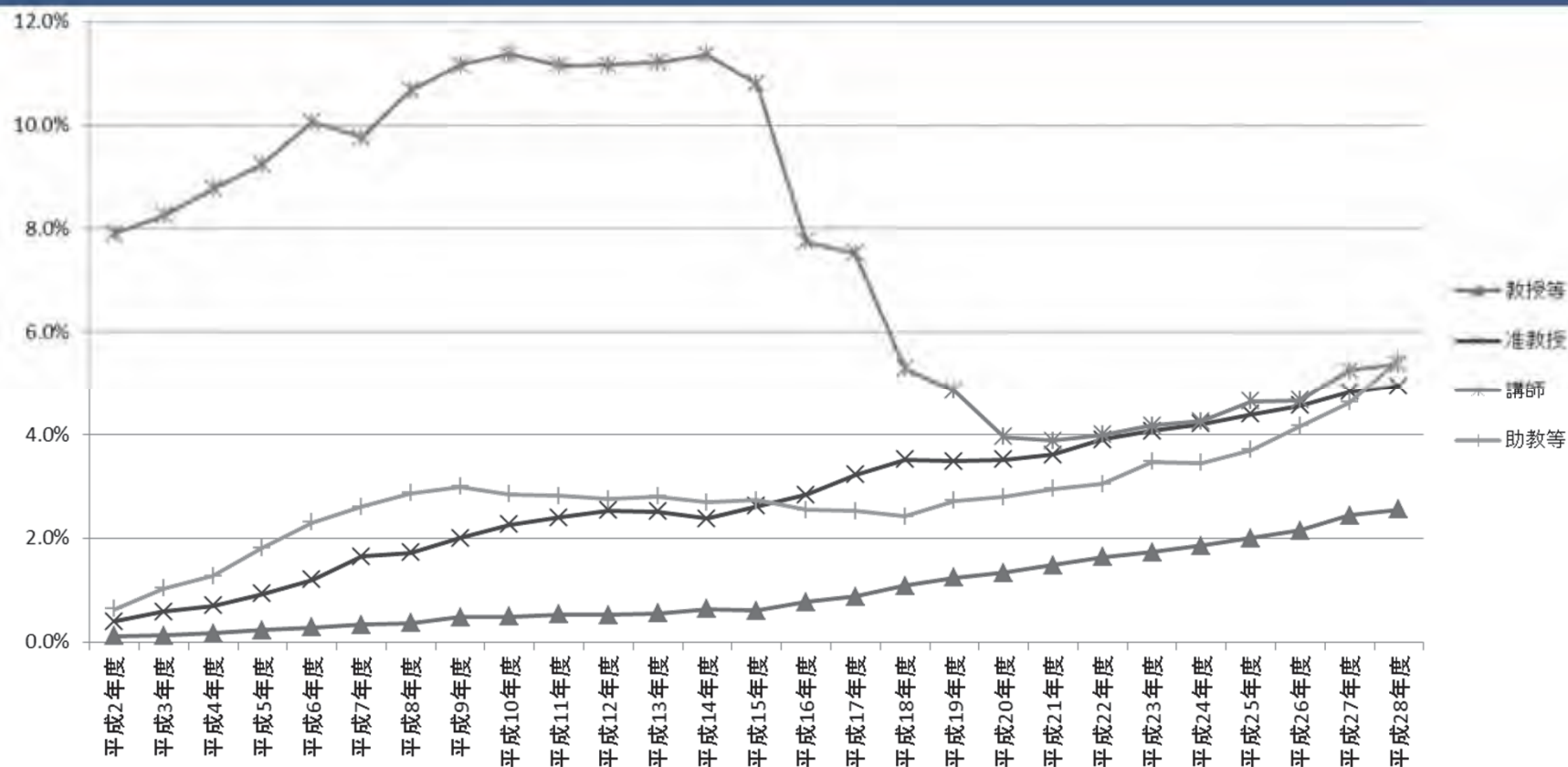
(出所)文部科学省「学校基本調査」を基に作成。

## 【大学等】国立大学の外国人教員数(職階別、割合)

国立大学の外国人教員割合は、「講師」以外の職階では着実に増加している。

- 国立大学の外国人教員割合は、「講師」を除く「教授等」「准教授」「助教等」ではほぼ一貫して増加を続けている。
- 「講師」については平成15年度以降急速に減少し、近年では他職種と同水準となっている。

図表1 外国人教員割合(職階別)(国立大学)



(注1) 数値は各年度の5月1日現在。

(注2) 教授等は学長、副学長、教授を指す。

(注3) 助教等は助教、助手(助手(旧)を含む)を指す。

(出所) 文部科学省「学校基本調査」を基に作成。

# 【大学等】国立大学の外国人教員数(職階別、割合)

(続き)

図表2 外国人教員割合(職階別)(国立大学)

	計								
	学長	副学長	教授	准教授	講師	助手(旧)	助教	助手	
平成2年度	1.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.4%	7.9%	0.6%	—	—
平成3年度	1.3%	0.0%	0.0%	0.1%	0.6%	8.3%	1.0%	—	—
平成4年度	1.5%	0.0%	0.0%	0.2%	0.7%	8.8%	1.3%	—	—
平成5年度	1.8%	0.0%	0.0%	0.2%	0.9%	9.2%	1.8%	—	—
平成6年度	2.1%	0.0%	0.0%	0.3%	1.2%	10.1%	2.3%	—	—
平成7年度	2.3%	0.0%	0.0%	0.3%	1.7%	9.8%	2.6%	—	—
平成8年度	2.5%	0.0%	0.0%	0.4%	1.7%	10.7%	2.9%	—	—
平成9年度	2.7%	0.0%	0.0%	0.5%	2.0%	11.2%	3.0%	—	—
平成10年度	2.7%	0.0%	0.0%	0.5%	2.3%	11.4%	2.8%	—	—
平成11年度	2.7%	0.0%	0.0%	0.5%	2.4%	11.2%	2.8%	—	—
平成12年度	2.7%	0.0%	0.0%	0.5%	2.5%	11.2%	2.8%	—	—
平成13年度	2.7%	0.0%	0.0%	0.6%	2.5%	11.2%	2.8%	—	—
平成14年度	2.6%	0.0%	0.0%	0.6%	2.4%	11.4%	2.7%	—	—
平成15年度	2.6%	0.0%	0.0%	0.6%	2.6%	10.8%	2.7%	—	—
平成16年度	2.4%	0.0%	0.0%	0.8%	2.8%	7.8%	2.5%	—	—
平成17年度	2.5%	0.0%	0.0%	0.9%	3.2%	7.5%	2.5%	—	—
平成18年度	2.5%	0.0%	0.0%	1.1%	3.5%	5.3%	2.4%	—	—
平成19年度	2.6%	0.0%	0.0%	1.2%	3.5%	4.9%	—	2.7%	3.8%
平成20年度	2.5%	0.0%	0.0%	1.3%	3.5%	4.0%	—	2.8%	1.6%
平成21年度	2.7%	0.0%	0.0%	1.5%	3.6%	3.9%	—	3.0%	3.2%
平成22年度	2.9%	0.0%	0.0%	1.6%	3.9%	4.0%	—	3.1%	4.5%
平成23年度	3.1%	0.0%	0.6%	1.7%	4.1%	4.2%	—	3.5%	4.5%
平成24年度	3.2%	0.0%	0.6%	1.9%	4.2%	4.3%	—	3.5%	5.5%
平成25年度	3.4%	0.0%	0.6%	2.0%	4.4%	4.6%	—	3.7%	6.0%
平成26年度	3.6%	0.0%	0.5%	2.1%	4.6%	4.7%	—	4.2%	6.2%
平成27年度	4.0%	0.0%	0.5%	2.4%	4.8%	5.3%	—	4.6%	5.8%
平成28年度	4.3%	0.0%	0.5%	2.6%	4.9%	5.4%	—	5.5%	5.5%

(注) 数値は各年度の5月1日現在。

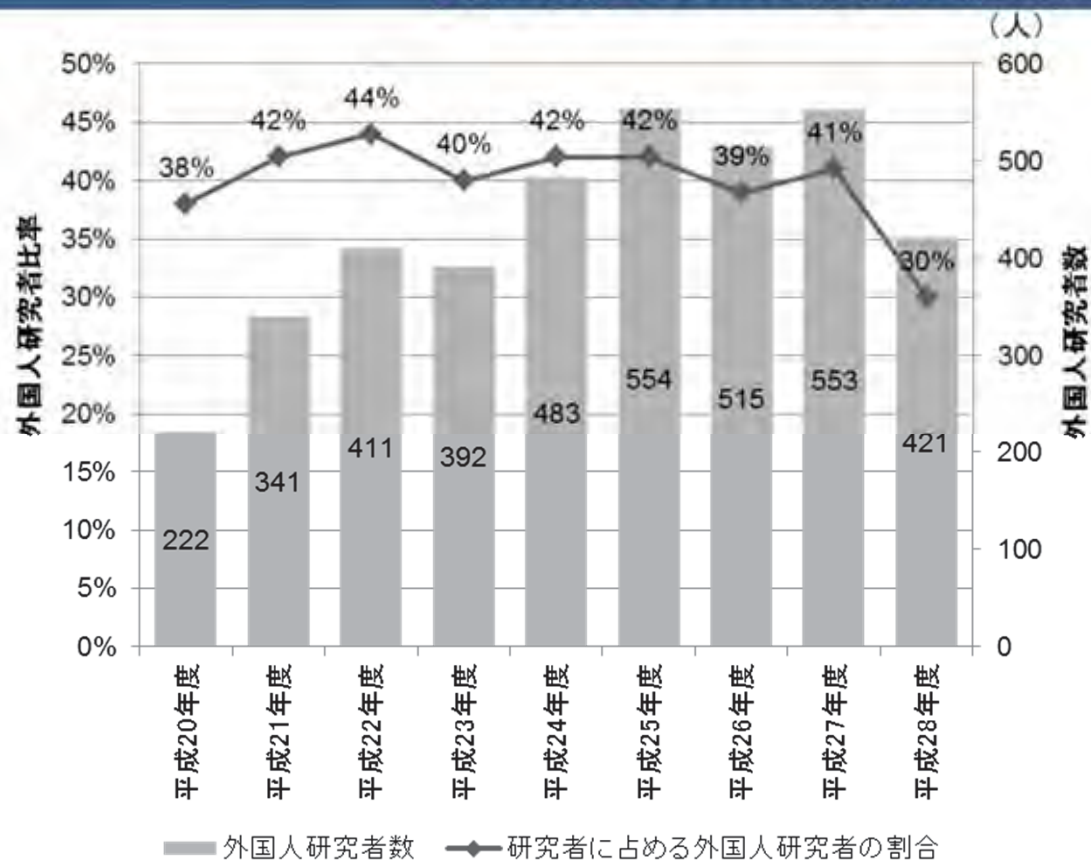
(出所) 文部科学省「学校基本調査」を基に作成。

## 【大学等】研究拠点の外国人研究者数(WPI)

世界トップレベル研究拠点(WPI)における外国人研究者の割合は40%程度。

- 世界トップレベル研究拠点における外国人研究者の割合は、平成27年度までは40%前後で横ばいとなっており、拠点の研究者数の増加に伴って外国人研究者数も増加している。
- 但し、平成28年度は外国人研究者数・割合共に減少する見込み。

図表1 世界トップレベル研究拠点における外国人研究者数・割合(特別拠点)



	単位:人 研究者数	研究者に占める 外国人研究者の 割合	単位:人 外国人研究 者数
平成20年度	583	38%	222
平成21年度	813	42%	341
平成22年度	935	44%	411
平成23年度	980	40%	392
平成24年度	1,151	42%	483
平成25年度	1,318	42%	554
平成26年度	1,320	39%	515
平成27年度	1,348	41%	553
平成28年度	1,404	30%	421

(注1)世界トップレベル研究拠点とは文部科学省「世界トップレベル研究拠点プログラム」に採択された9拠点(東北大学 原子分子材料科学高等研究機構(AIMR)、東京大学 カブリ数物連携宇宙研究機構(Kavli IPMU)、京都大学 物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)、大阪大学 免疫学フロンティア研究センター(IFReC)、物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点(MANA)、九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I2CNER)、筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構(IIIS)、東京工業大学 地球生命研究所(ELSI)、名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所(ITbM)を指す。

(注2)外国人研究者数は、「研究者数」に「研究者に占める外国人研究者の割合」を乗じて推計。平成28年度の値は見込み値。

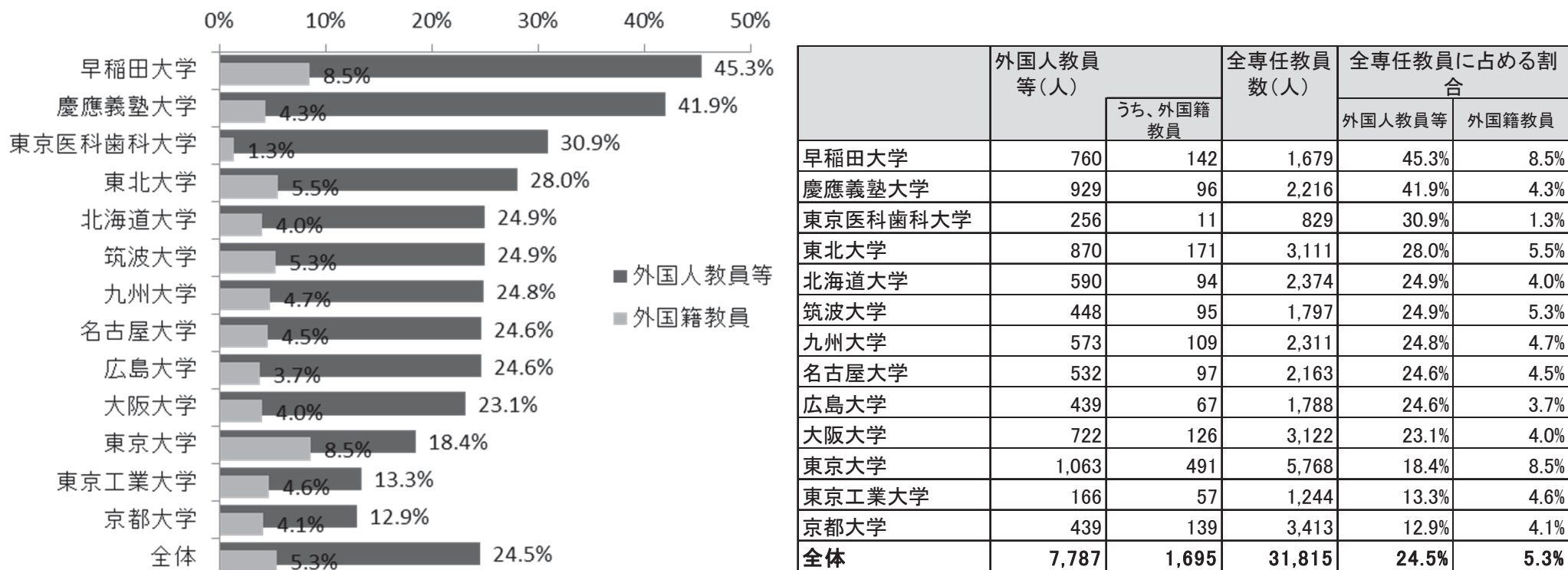
(出所)文部科学省「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」を基に作成。

# 【大学等】研究拠点の外国人研究者数(スーパーグローバル大学)

スーパーグローバル大学(タイプ A)における外国人教員等割合は平均で24.5%。

■ 各大学の外国人教員等割合、外国籍教員割合の平均は、平成25年度でそれぞれ24.5%、5.3%である。

図表1 スーパーグローバル大学(タイプ A)における外国人教員等割合



(注)平成25年5月1日現在。外国人教員等には、外国籍教員、外国の大学で学位を取得した日本人教員、外国で教育研究歴のある日本人教員が含まれる。

(出所)日本学術振興会「スーパーグローバル大学創成支援」採択大学一覧のタイプ A(トップ型)構想調書(各採択大学)を基に作成。